

第 9 回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第 9 回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

- 平成 29 年 7～9 月期の業況は「やや悪化」。
- 農水産業は改善したものの、その他の業種は横ばい、または悪化しており、特に運輸業と建設業では大幅に悪化し、マイナスに転じている。
- 平成 29 年 10～12 月期の業況は「やや改善」する見通し。

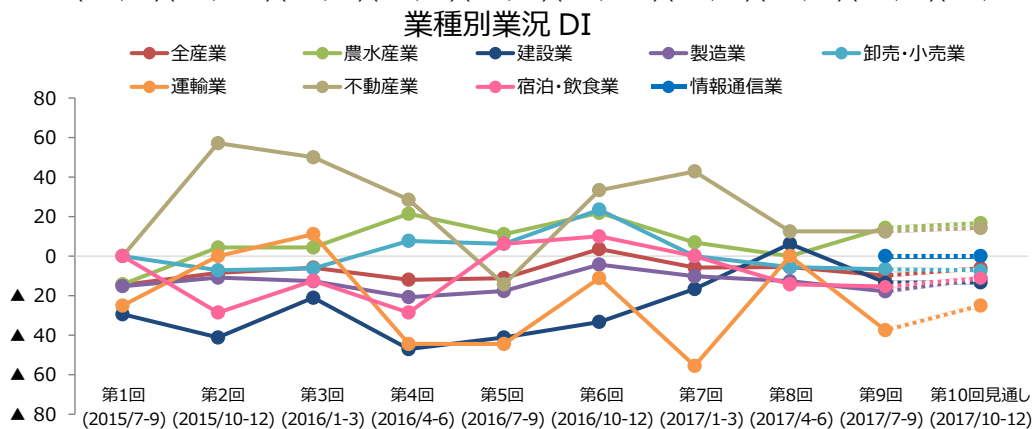
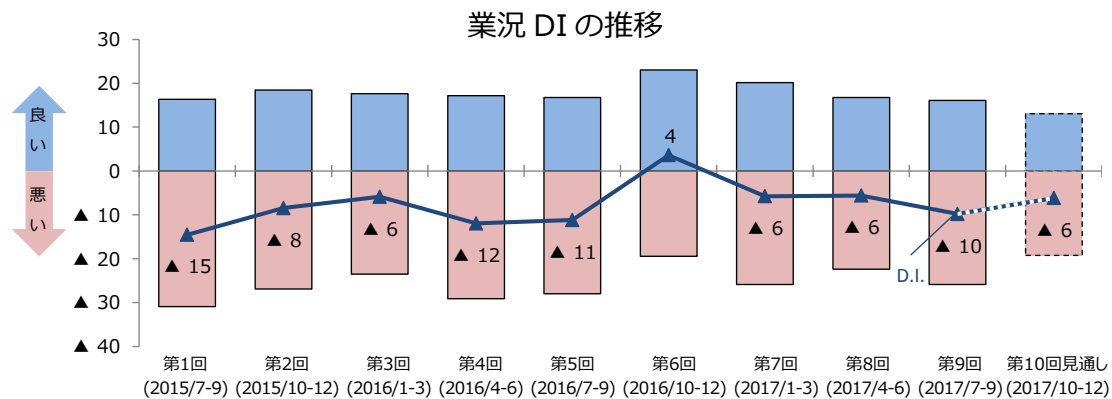
業況 DI

○今期は▲10(良い<悪い)となり、前期(▲6)よりやや悪化した。

- ▶ 業種別では、農水産業(前期 0→今期 14)は改善したものの、不動産業(前期 13→今期 13)と卸売・小売業(前期▲6→今期▲7)、宿泊・飲食業(前期▲14→今期▲15)は横ばい、製造業(前期▲13→今期▲18)はやや悪化、運輸業(前期 0→今期▲38)と建設業(前期 6→今期▲13)は大幅に悪化し、マイナスに転じている。
- ▶ 前年同期(▲11)と比較すると、横ばいとなっている。

○来期は▲6(良い<悪い)と、やや改善する見通し。

- ▶ 業種別では、農水産業(今期 14→来期 17)、建設業(今期▲13→来期▲13)、卸売・小売業(今期▲7→来期▲7)、不動産業(今期 13→来期 14)、情報通信業(今期 0→来期 0)は横ばい、製造業(今期▲18→来期▲12)と宿泊・飲食業(今期▲15→来期▲11)はやや改善、運輸業(今期▲38→今期▲25)は改善する見通し。



※ 上記は、主な DI 値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業 況 D I	<p>○今期は▲10(良く悪い)となり、前期(▲6)とよりやや悪化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、農水産業(前期 0→今期 14)は改善したものの、不動産業(前期 13→今期 13)と卸売・小売業(前期▲6→今期▲7)、宿泊・飲食業(前期▲14→今期▲15)は横ばい、製造業(前期▲13→今期▲18)はやや悪化、運輸業(前期 0→今期▲38)と建設業(前期 6→今期▲13)は大幅に悪化し、マイナスに転じている。 ▶ 前年同期(▲11)と比較すると、横ばいとなっている。 <p>○来期は▲6(良く悪い)と、やや改善する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、農水産業(今期 14→来期 17)、建設業(今期▲13→来期▲13)、卸売・小売業(今期▲7→来期▲7)、不動産業(今期 13→来期 14)、情報通信業(今期 0→来期 0)は横ばい、製造業(今期▲18→来期▲12)と宿泊・飲食業(今期▲15→来期▲11)はやや改善、運輸業(今期▲38→今期▲25)は改善する見通し。
生 産 高 D I	<p>○今期は▲8(増加<減少)と、前期(▲13)よりやや上昇した。</p>
売上・完工高 D I	<p>○今期は▲11(増加<減少)と、前期(▲8)よりやや悪化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、建設業(前期 6→今期▲13)は悪化、運輸業(前期 0→今期▲25)と宿泊・飲食業(前期 14→今期▲7)も大幅に悪化し、マイナスに転じている。 <p>○来期は 1(増加>減少)と、改善する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、運輸業(今期▲25→来期 0)と農水産業(今期▲5→来期 15)が大幅に改善し、農水産業はプラスに転じると見込まれる。
製品・商品在庫 D I	<p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が 9%、「適正」が 76%、「不足」が 15%、DI は ▲5(過剰<不足)となり、前期(▲0)よりやや不足となった。</p>
製(商)品販売単価 D I	<p>○今期は 1(上昇>低下)と、前期(0)とほぼ横ばいとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、不動産業が 20 と前期(0)より大幅に上昇した。一方、運輸業は 0 と前期(14)より低下している。 <p>○来期は 7(上昇>低下)と、やや上昇する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、不動産業が 40 と今期(20)から 2 期連続で大幅に上昇する見通し。
原材料仕入単価 D I	<p>○今期は 34(上昇>低下)と、前期(26)よりやや上昇した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、運輸業が 67 と前期(33)より大幅に上昇している。 ▶ 運輸業の製(商)品販売単価 DI は低下しており、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できていない状況であることがうかがえる。 <p>○来期は 44(上昇>低下)と、やや上昇する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、農水産業(今期 14→来期 30)と卸売・小売業(今期 12→来期 25)は上昇、情報通信業(今期 0→来期 20)は大幅に上昇する見通し。
資金繰り D I	<p>○今期は▲9(楽<苦しい)と、前期(▲1)よりやや悪化した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、卸売・小売業(前期▲5→今期 6)は改善し、プラスに転じた。一方、運輸業(前期 11→今期▲25)と建設業(13→▲13)、宿泊・飲食業(前期▲7→今期▲31)はそれぞれ大幅に悪化し、建設業と運輸業はマイナスに転じている。 <p>○来期は▲12(楽<苦しい)と、やや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 業種別では、製造業(今期▲11→来期▲8)はやや改善、情報通信業(今期 0→来期 0)は横ばいを見込まれる一方、その他の業種では悪化する見通し。

概 況	
雇 用 人 員 D I	<p>○今期は▲48(過剰<不足)と、前期(▲40)とよりほぼ悪化となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶業種別では、運輸業は▲38 と、前期(▲100)より大幅に改善したがマイナス圏を脱せず、依然として全ての業種でマイナスとなっている。 ▶業種に限らず、「人手不足により売上(受注)が制限される」、「外注に出せない」、「設備整備したいが、人手不足で受けてもらえない」といった意見が多く挙げられた。また、「募集をかけても応募がない」状況で、どの業種においても人材確保に苦慮している状況がうかがえる。 ▶なお、鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の平成29年7~9月の有効求人倍率の平均は1.29倍となっている。9月の有効求人数(パート含む)3,778人、35か月連続の増加となっている一方、有効求職者数(パート含む)は2,802人、21か月連続の減少となっている。 <p>○来期は▲47(過剰<不足)と、ほぼ横ばいで推移する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶業種別では、製造業(今期▲54→来期▲48)と宿泊・飲食業(今期▲57→▲55)でやや改善する見通したが、依然として全ての業種がマイナス圏に留まり、労働力不足の状態は続く見込まれる。
損 益 D I	<p>○今期は▲8(好転<悪化)と、前期(▲/8)と横ばいとなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶業種別では、卸売・小売業が0と前期(▲26)より大幅に改善した。一方、運輸業(前期0→今期▲38)と宿泊・飲食業(前期0→今期▲29)は大幅に悪化しマイナスに転じた。 <p>○来期は▲6(好転<悪化)と、ほぼ横ばいで推移する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶業種別では、不動産業(今期13→来期25)は改善する見通し。一方、農水産業は(今期19→来期5)と悪化すると見込まれる。

【調査概要】

1 調査対象： 市内事業所 190 先

(農水産業 39 先、建設業 20 先、製造業 63 先、卸売・小売業 20 先
 不動産業 8 先、運輸業 12 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 9 先)

回答数：148 件 回答率：77.9%

2 調査時期： 平成 29 年 10 月

3 対象期間： 平成 29 年 7~9 月期実績(今期)、平成 29 年 10~12 月期見通し(来期)

4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D I 値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が 10%、「悪い」が 50%の場合、D I 値は「▲40」となります。「D I」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、今期損益の好転・悪化要因、自由意見

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@e-kanoya.net

第9回 鹿屋市短期経済観測調査 (かのや短観) 結果

(単位: %)

項目	平成29年4~6月				平成29年7~9月					平成29年10~12月			
	前 期				今 期					来 期 見 通 し			
	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)	前回 調査時 今期	良い 増加 (A)	普通 同程度 (B)	悪い 減少 (C)	DI (A-C)
自社の業況(景況感)	17	61	22	▲ 6	16	58	26	↓ ▲ 10	▲ 6	13	68	19	↑ ▲ 6
農水産業	13	75	13	0	19	76	5	↑ ▲ 14	13	22	72	6	↑ ▲ 17
建設業	25	56	19	6	0	87	13	↓ ▲ 13	▲ 7	0	87	13	- ▲ 13
製造業	16	55	29	▲ 13	16	50	34	↓ ▲ 18	▲ 15	13	62	25	↑ ▲ 12
卸売・小売業	17	61	22	▲ 6	27	40	33	↓ ▲ 7	▲ 12	7	79	14	- ▲ 7
運輸業	25	50	25	0	0	63	38	↓ ▲ 38	0	13	50	38	↑ ▲ 25
不動産業	25	63	13	13	25	63	13	- 13	0	29	57	14	↑ ▲ 14
宿泊・飲食業	7	71	21	▲ 14	23	38	38	↓ ▲ 15	0	11	67	22	↑ ▲ 11
情報通信業					14	71	14	0		14	71	14	- 0
生産高(製造業)	20	46	33	▲ 13	19	55	26	↑ ▲ 8	▲ 8	22	56	22	↑ ▲ 0
売上・完工高	21	50	29	▲ 8	19	51	30	↓ ▲ 11	▲ 4	22	58	20	↑ ▲ 1
農水産業	13	67	21	▲ 8	19	57	24	↑ ▲ 5	19	30	55	15	↑ ▲ 15
建設業	31	44	25	6	13	63	25	↓ ▲ 13	▲ 6	20	60	20	↑ ▲ 0
製造業	17	44	39	▲ 22	16	48	36	↑ ▲ 20	▲ 17	20	59	22	↑ ▲ 2
卸売・小売業	26	42	32	▲ 5	35	24	41	↓ ▲ 6	▲ 11	13	67	20	↓ ▲ 7
運輸業	38	25	38	0	0	75	25	↓ ▲ 25	▲ 25	25	50	25	↑ ▲ 0
不動産業	25	63	13	13	43	43	14	↑ ▲ 29	17	43	43	14	- 29
宿泊・飲食業	21	71	7	14	21	50	29	↓ ▲ 7	33	18	55	27	↓ ▲ 9
情報通信業					14	71	14	0		14	71	14	- 0
製品・商品在庫 (適正水準比)	多い	妥当	少ない	0	多い	妥当	少ない	↓ ▲ 5					
農水産業	0	84	16	▲ 16	10	80	10	↑ ▲ 0					
建設業	0	75	25	▲ 25	7	79	14	↑ ▲ 7					
製造業	13	79	8	6	8	79	13	↓ ▲ 6					
卸売・小売業	22	78	0	22	19	81	0	↓ ▲ 19					
運輸業	25	75	0	25	0	75	25	↓ ▲ 25					
不動産業	17	50	33	▲ 17	17	50	33	- ▲ 17					
宿泊・飲食業	0	92	8	▲ 8	7	86	7	↑ ▲ 0					
情報通信業					0	20	80	▲ 80					
製(商)品販売単価	上昇	横ばい	低下	0	上昇	横ばい	低下	↑ ▲ 1	▲ 2	上昇	横ばい	低下	↑ ▲ 7
農水産業	13	83	4	9	20	60	20	↓ ▲ 5	11	83	6	↑ ▲ 6	
建設業	14	71	14	0	13	81	6	↑ ▲ 6	▲ 7	25	69	6	↑ ▲ 19
製造業	5	80	15	▲ 9	4	89	7	↑ ▲ 4	▲ 7	4	94	2	↑ ▲ 2
卸売・小売業	5	89	5	0	12	71	18	↓ ▲ 6	0	13	81	6	↑ ▲ 6
運輸業	14	86	0	14	0	100	0	↓ ▲ 100	14	0	100	0	- 0
不動産業	20	60	20	0	20	80	0	↑ ▲ 20	0	40	60	0	↑ ▲ 40
宿泊・飲食業	14	86	0	14	14	86	0	- 14	0	9	91	0	↓ ▲ 9
情報通信業					0	100	0	0		0	100	0	- 0
原材料仕入単価	上昇	横ばい	低下	1	上昇	横ばい	低下	↑ ▲ 34	23	上昇	横ばい	低下	↑ ▲ 44
農水産業	13	88	0	13	24	67	10	↑ ▲ 14	17	30	70	0	↑ ▲ 30
建設業	44	56	0	44	56	44	0	↑ ▲ 56	40	63	38	0	↑ ▲ 63
製造業	26	72	2	24	40	58	2	↑ ▲ 38	23	46	54	0	↑ ▲ 46
卸売・小売業	17	83	0	17	18	76	6	↓ ▲ 12	19	25	75	0	↑ ▲ 25
運輸業	33	67	0	33	67	33	0	↑ ▲ 67	17	67	33	0	- 67
不動産業	50	50	0	50	60	40	0	↑ ▲ 60	50	60	40	0	- 60
宿泊・飲食業	43	57	0	43	38	62	0	↓ ▲ 38	9	45	55	0	↑ ▲ 45
情報通信業					0	100	0	0		20	80	0	↑ ▲ 20
資金繰り	楽	普通	苦しい	▲ 1	楽	普通	苦しい	↓ ▲ 9	▲ 7	楽	普通	苦しい	↓ ▲ 12
農水産業	8	84	8	0	9	77	14	↓ ▲ 5	▲ 4	10	71	19	↓ ▲ 10
建設業	19	75	6	13	0	88	13	↓ ▲ 13	▲ 7	0	81	19	↓ ▲ 19
製造業	9	75	16	▲ 7	7	75	18	↓ ▲ 11	▲ 11	6	81	13	↑ ▲ 8
卸売・小売業	5	84	11	▲ 5	18	71	12	↑ ▲ 6	▲ 6	13	75	13	↓ ▲ 0
運輸業	11	89	0	11	0	75	25	↓ ▲ 25	0	0	63	38	↓ ▲ 38
不動産業	13	88	0	13	14	86	0	↑ ▲ 14	0	14	71	14	↓ ▲ 0
宿泊・飲食業	7	80	13	▲ 7	0	69	31	↓ ▲ 31	▲ 8	0	55	45	↓ ▲ 45
情報通信業					29	43	29	0		29	43	29	- 0
雇用人員	過剰	適正	不足	▲ 40	過剰	適正	不足	↓ ▲ 48	▲ 37	過剰	適正	不足	↑ ▲ 47
農水産業	8	67	25	▲ 17	5	62	33	↓ ▲ 29	▲ 22	0	65	35	↓ ▲ 35
建設業	6	31	63	▲ 56	0	31	69	↓ ▲ 69	▲ 56	0	25	75	↓ ▲ 75
製造業	4	55	42	▲ 38	2	43	55	↓ ▲ 54	▲ 36	4	44	52	↓ ▲ 48
卸売・小売業	5	58	37	▲ 32	6	47	47	↓ ▲ 41	▲ 22	6	44	50	↓ ▲ 44
運輸業	0	0	100	▲ 100	0	63	38	↑ ▲ 38	▲ 78	13	38	50	- ▲ 38
不動産業	0	75	25	▲ 25	0	75	25	- ▲ 25	▲ 29	0	75	25	- ▲ 25
宿泊・飲食業	0	47	53	▲ 53	0	43	57	↓ ▲ 57	▲ 46	0	45	55	↑ ▲ 55
情報通信業					0	57	43	▲ 43		0	57	43	- ▲ 43
損益	好転	横ばい	悪化	▲ 8	好転	横ばい	悪化	- ▲ 8	▲ 6	好転	横ばい	悪化	↑ ▲ 6
農水産業	16	72	12	4	29	62	10	↑ ▲ 19	13	20	65	15	↓ ▲ 5
建設業	13	63	25	▲ 13	6	75	19	- ▲ 13	0	0	88	13	- ▲ 13
製造業	11	67	22	▲ 11	18	54	29	- ▲ 11	▲ 13	17	63	20	↑ ▲ 4
卸売・小売業	0	74	26	▲ 26	18	65	18	↑ ▲ 18	▲ 18	6	88	6	- 0
運輸業	22	56	22	0	0	63	38	↓ ▲ 38	▲ 11	0	57	43	↓ ▲ 43
不動産業	25	63	13	13	25	63	13	- 13	▲ 14	38	50	13	↑ ▲ 25
宿泊・飲食業	7	87	7	0	0	71	29	↓ ▲ 29	8	9	55	36	↑ ▲ 27
情報通信業					0	83	17	▲ 17		0	83	17	- ▲ 17

注)四捨五入の関係上、D I 値(A-C)は一致しない場合がある。